

委託費・補助金	再生可能エネルギー熱利用計測技術実証事業	フェーズ：B	支援分野：熱利用技術開発	23年度予算額：7.6億円
		今年度の募集期間：未定（今年度新規）		

事業の概要

再生可能エネルギー熱利用システム（太陽熱、地中熱、雪氷熱等）を試験的に設置し、簡便かつコストパフォーマンスに優れた熱量の正確な計測方法及び計量器メータに求められるスペックを確立します。

支援内容

○熱利用分野における再生可能エネルギーの普及拡大には、利用熱量の実績に対して経済的インセンティブを付与するグリーン熱証書等の活用が必要であり、そのためには信頼できる計測方法の確立が求められます。

（計測コストが大きい液体を媒介とする場合）
→簡便かつコストパフォーマンスに優れた計測方法。
（計測手法が確立されていない気体を媒介とする場合）
→正確な計測方法及び計量器メータのスペック。

○信頼できる計測方法の確立のため、以下を実施します。

- ①計測機器を備えた再生可能エネルギー熱利用システム（太陽熱、地中熱、雪氷熱等）の試験的な設置、及び各種熱量データの収集。
- ②得られたデータを分析・評価し、計測器メータの基準作成等。



（測定方法の一例）

液体を媒介とする場合（太陽熱）

```

    graph TD
      A[補助熱源] -- "計測器1" --> B[貯湯槽(蓄熱槽)]
      C[集熱器] -- "計測器2" --> B
      B -- "計測器3" --> D[熱交換器]
      D -- "計測器4" --> E[利用機器]
  
```

計測器：カロリーメータ
流量計+温度計

太陽熱利用設備 

出典 NEDO太陽熱FIT業務報告書

気体を媒介とする場合（雪氷熱）

```

    graph TD
      A[補助冷蔵機器] -- "計測器1" --> B[冷蔵倉庫]
      C[雪氷熱集熱器] -- "計測器2" --> B
      B --> D[利用機器]
  
```

雪氷熱利用設備 

出典 NEDO新エネガイドブック